



営業情報集計処理の 自動化

2011年12月6日

クロス・テクノロジー株式会社



弊社紹介

社名 : クロス・テクノロジー株式会社 [X Technology, Inc.]

所在地 : 東京都千代田区神田佐久間町2丁目7番地 第6東ビル3F

設立 : 2002年(平成14)9月25日

資本金 : 5,215万円 (2011.09)

代表者 : 代表取締役社長 松井 章

従業員数 : 40名 (2011.09、契約社員含)

決算期 : 3月

厚労省許可

平成19年4月 一般労働者派遣事業者 般13-302592

平成19年6月 人材紹介事業者 13-ユ-302290



事業分野

■ ビジネス・プロモーション・サポート

お客様の本来業務支援します。

- ・ お客様の事業推進における差別化戦略等を支援する「人財」や「仕組み」を提案します。
- ・ IT業界の国内外の優秀な技術やパッケージ商品を I T会社様や販売会社様にご紹介致します。セキュリティ系、ネット監視系、検索エンジン系、業務系パッケージ・商品などをSIer様、ネットワーク構築会社様などにご紹介させて頂く成功報酬型サービスです。

■ 組織運営支援ソリューション

高度技術者を活用した効率的な運営を支援します

- ・ お客様の内製化支援、I T組織運用の効率化支援をする、業務知識、システム分析力、最新 I T技術を有し、ラインマネジメント、プロジェクトマネジメントなどの経験豊かな高度技術者をご紹介させて頂きます。
- ・ 社内ユーザへの要件定義支援、社内インフラの保守・運用のキーマン、開発部隊の管理者補助として高度技術者をご提供させて頂き、企画から安定運用体制の構築が出来たとご評価を頂いております。

■ 高付加価値 Web ソリューション

業務に密着したWebシステムの開発を行います

- ・ 要件定義が出来る優れた業務系Web開発要員を多数揃えており、要件定義段階から参画し、業務内容にフィットした最新のWebシステムをご提供させて頂きます。
- ・ Web版支払管理システム、Web版受発注システム、Web版稟議承認システム、Web版出張旅費精算システム、Web版多段階承認システムなどの開発実績が御座います。



StiLL開発実績

業態	部門	システム名	備考
学校法人	事務	入試管理システム	
ホテル業	営業部	顧客管理システム	
物流業	情報システム部	請求管理システム	
医療機器製造・販売	営業部	営業情報集計処理	今回ご紹介案件
サービス業	営業部	案件管理システム	
他			



1. 顧客情報

商号	医療機器製造・販売
設立年月日	
資本金	
従業員数	
国内支店(14支店)	北海道、東北、東京、東関東、横浜、北関東、静岡、名古屋、北陸、大阪、神戸、中国、四国、九州
事業内容	医療機器、医療情報システム、汎用分析装置及び医用分析装置の開発、製造、販売及び据付、保守サービス
主要製品	◇医療機器 MRイメージング装置、診断用超音波装置、X線CT装置、X線装置、核医学装置 他 ◇医療情報システム 医用画像管理システム、病院情報システム、総合健診システム、医療事務システム ◇汎用分析装置 放射線測定装置、放射線(能)管理装置、放射線応用装置、バイオ関連装置、関連システム ◇医用分析装置 検体検査装置、分注装置、発光・分光分析装置、関連システム
主要取引先	官公庁病院 大学付属病院 一般病院 医院 診療所 他



2. 営業情報集計表の概要

下記の営業数値を2表作表し、毎週の営業会議資料として使用している。

◇支店別集計表

各支店(14支店)ごとに下記の順にその明細出力と金額集計する。集計方法は下記の通り。

①ステージ別(5分類)

1. UI(経理計上済)
2. 注残
3. 計上(計上中)
4. MIT計上 ... (営業システム計上)
5. 未計上(見込)

②各数値をquarter(4半期)ごとに集計する

◇製品別集計表

各製品分類ごとに下記の順にその明細出力と金額集計する。集計方法は下記の通り。

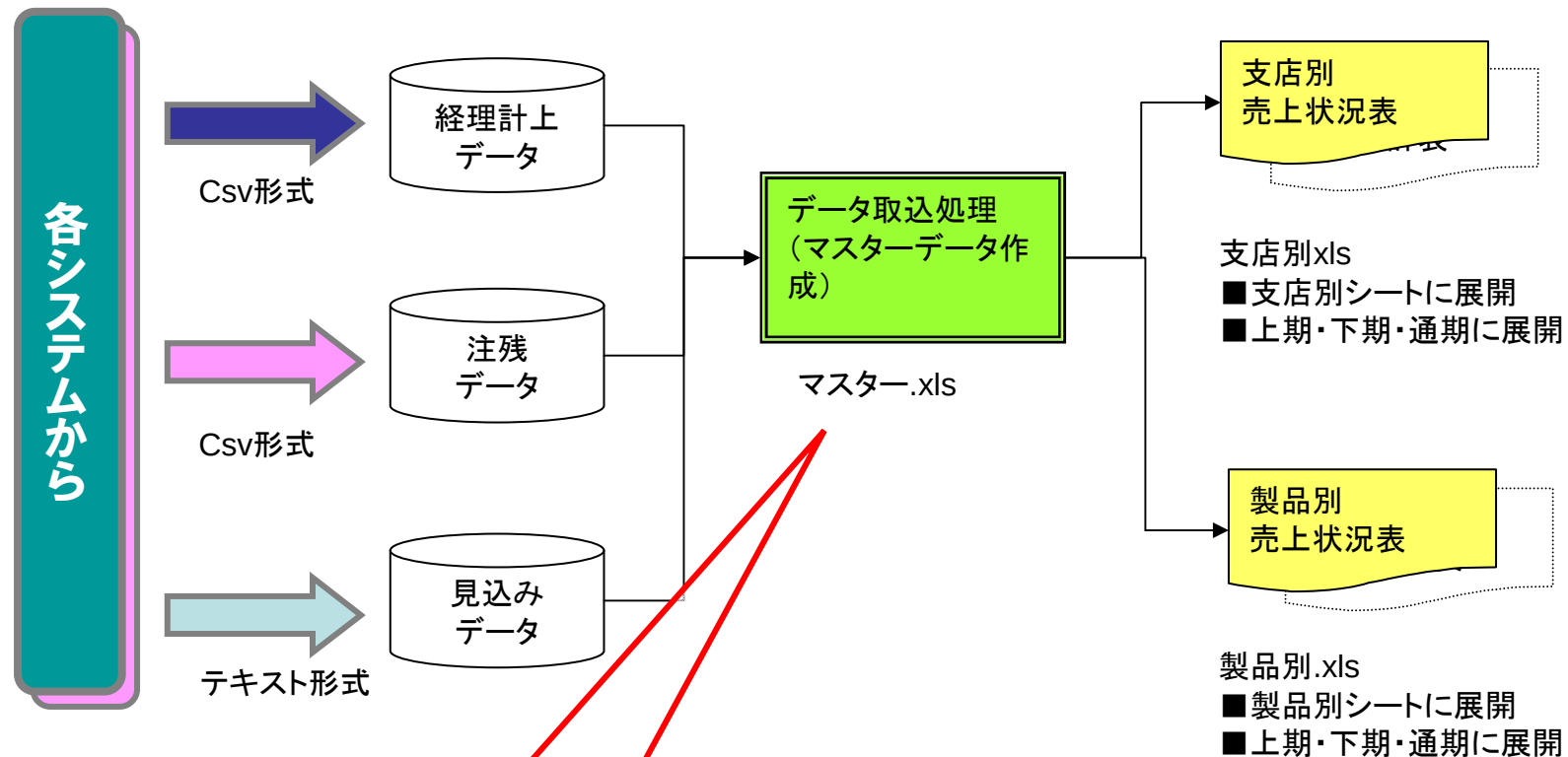
①ステージ別(5分類)

1. UI(経理計上済)
2. 注残
3. 計上(計上中)
4. MIT計上 ... (営業システム計上)
5. 未計上(見込)

②各数値をquarter(4半期)ごとに集計する



3. 処理のデータフロー



入力の各データフォーマットが相違しているため、各データを取込後、統一フォーマットに変換
⇒全て手作業

各帳票は統一されたマスター.xlsより、
・各支店別に明細部と合計部を作成
・各製品別に明細部と合計部を作成



5. 作表における課題

毎回作表するにあたり下記が課題として、クローズアップしている。

1. 以下理由により全てを手作業で作表をしている

- 帳票の明細部には各案件明細を表示する。
- 明細部の直後に合計部を表示する。

⇒支店の規模に応じて、ステージ別の案件明細件数にバラツキがあり、合計部を固定したフォーマットでは帳票が見づらい。そのため明細部の直後に合計部を表示して見やすくしている。

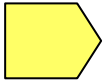
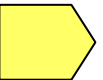
従って、ステージ毎の合計部の行位置は、明細部の件数に応じて可変となるので、合計を表示させるための編集作業が支店毎、ステージ毎に必要となる。

2. 上記の編集作業が必要なため、専属の作表者でないと作表できない

3. また、本表を毎週作表するので、作業時間も多大な時間を費やしている



6. 実際の作表オペレーション

- ① 統合されたマスター.Xls(Inputデータ)から、該当支店データをステータス毎に抽出し、件数をカウントする。
- ② 帳票用Excelシートに①でカウントした行数を確保する。
- ③ ①のデータをコピーし、②のExcelシートに貼り付ける。
- ④ 帳票用Excelシートに合計部を作成する⇒書式その他、計算式(Sum関数)を明細部に合わせた行数に修正する。

支店別と製品別の2表の集計表作成するので、上記編集処理を、支店別・ステータス毎と製品別・ステージ毎に行う必要がある。

◇支店別集計表

14支店 × 5ステージ(UI、注残、計上、MIT計上、見込) = **70回**

◇製品別集計表

4分類 × 5ステージ(UI、注残、計上、MIT計上、見込) = **20回**

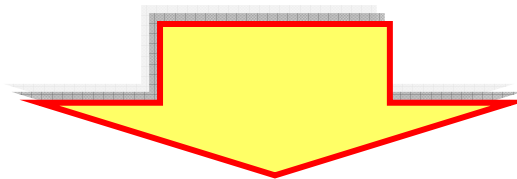
上記作業合計すると、**90回の作業**が必要となり、多大な作表時間を費やしている



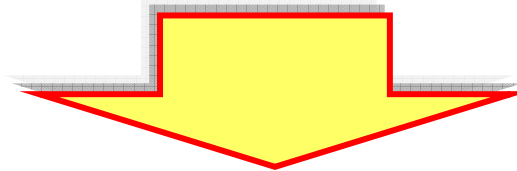
7. 弊社からの提案

作業時間合計

- 作業時間; 3分(1編集) × 90回 ÷ 270分(4.5時間)/1回
- 月間作業時間 = 4.5時間 × 4回(毎週) ÷ 18時間
- 年間作業時間 = 18時間 × 12ヶ月 ÷ 216時間



1. 自動化して、オペレーション負担をなくす！
2. メンテナンス性を考慮しマクロは使わない！



使い慣れたExcel+StiLL活用による提案



8. StiLLによる開発のメリット

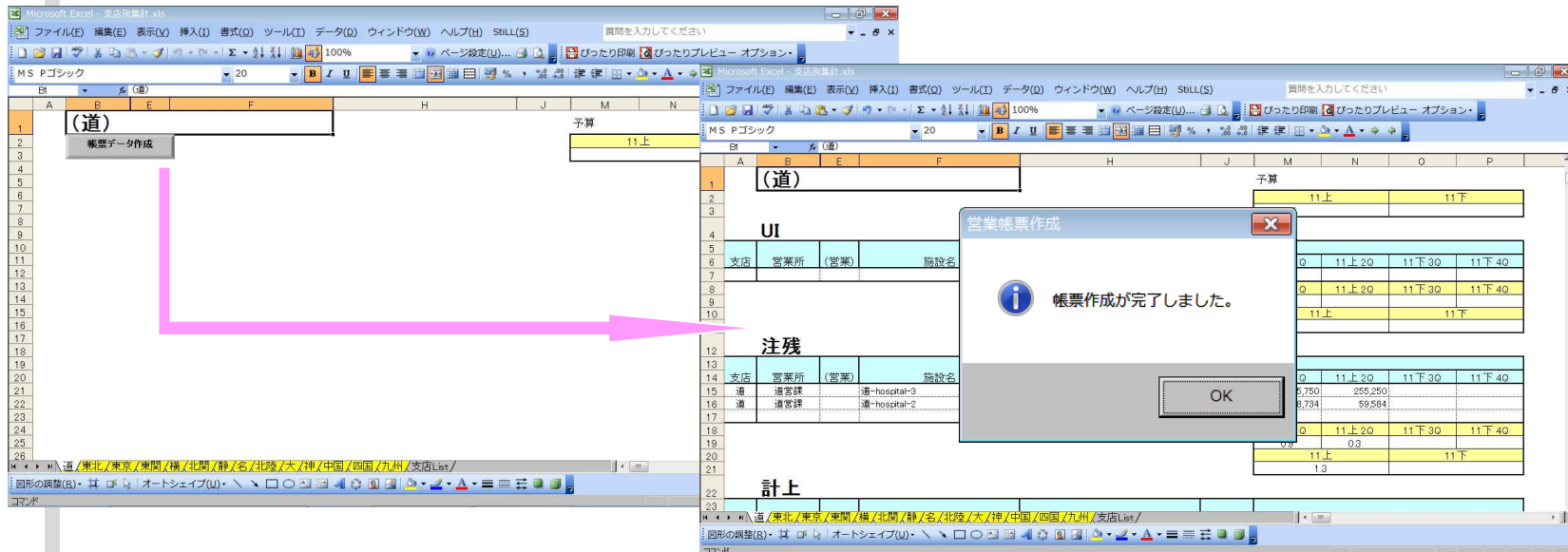
1. ユーザは使い慣れたExcel上での利用ができる。
2. 既存の帳票設計はそのまま使える。
3. 開発スピードが速い。(開発期間2週間)
4. メンテナンス性が良いので変更対応も早くできる。

⇒営業部門の集計表なので、基軸を変えた集計をタイムリーに分析したいなどの要望にも即対応できる



9. StiLLによる開発

- Excelファイルを開くと下記画面を表示する。
- Excelのメニューバーなど何ら制限を掛けない。
- 従来処理のままの形態として「メニュー」画面を作成しない。
- 「帳票データ作成」ボタンをクリックで自動的に帳票を作成する。
- 帳票作成完了





10. 今回開発において

- 既存帳票資産を活用したので要件定義・設計期間がほぼ不要となった。
- Excel上の操作も従来のまま制限をかけないので、ユーザが帳票上で強調したい項目などは、書式設定で従来通りできる。⇒**開発不要となり費用も削減**
- Excelの不得意なブレイク処理が、StiLLにより可能であること実証できた。
- 帳票作表ツールとしては、**StiLLの活用は**充分に見込まれるので、今後も注力をしていく。



ご清聴ありがとうございました。